

●前回会議における発言及び各委員から寄せられた主な提案・意見とその反映（案）

	提案・意見		反映（案）	団体名
	項目	内容		
1	■ 基本的な考え方（P24）	前橋がこれだけ魅力的であるということを恒に発信すること、必要であれば広報活動を厭わないことを念頭に置くべきである。まとめれば、 <u>前橋の魅力は何か、より明確にし、わかりやすく伝えることが重要</u> であり、戦略には是非この点を加えていただきたい。	戦略のコンセプトの一つとして、「共有と発信」を追加しました。これは全ての事業に共通する重要なテーマであり、「 <u>理念や目標を共有し、地域の魅力と価値をわかりやすく表現・発信する</u> 」ことを念頭に置いたうえで、 <u>事業を推進</u> してまいります。	前橋工科大学
2	■ 10のシンボル事業（P29）	10のシンボル事業は、「前橋市の強みを活かした事業（課題の解決策）であること」を市民にはっきりと明示することが理解を促進すると思います。その観点から言うと、 <u>強みのひとつである「農業・食」がどの事業に結び付いているかがわかりづらい</u> と思います。 「7の道の駅」の機能として、「 <u>農産物・加工品のブランド化推進</u> 」を明記するなどの工夫があるとよいと考えます。	「7の道の駅」の記載を以下のとおり変更します。 変更前：魅力の発信拠点となる新たな「道の駅」 「都市と農村の交流空間」をテーマに、本市の魅力を発信する拠点となる道の駅を開設 変更後：魅力の発信拠点となる新たな「道の駅」 <u>本物の食（農業）・自然を体感できる、本市の魅力や地域資源の発信拠点を整備</u>	日本政策金融公庫前橋支店
3	■ 10のシンボル事業（P29）	10のシンボル事業において、 <u>前橋市の強みがどのように反映されており、事業の展開の中で強みをどのように伸ばしていくのか、という点がはっきりとはしていない</u> 。そのため、事業に前橋市の特徴・カラーが出てきていない感がある。 やるべき課題（結婚・出産・子育て支援等）は、どこの市町村でも、ある程度は同じようなものになると考えられるが、 <u>折角前橋市の強みという点を主張するのだから、その強みとの関係を事業計画の中にはっきりと書き込む、強みを活用するべきではないか</u> 。その方が、市民にとっても、参加する意識が強くなると思われます。（将来的に伸ばしていくという計画でないのならば仕方ありませんが）	10のシンボル事業のうち、市の強みを活用するものについては、事業名の横に《地域特性》を明記いたしました。 なお、ご指摘のとおり、10のシンボル事業は、その全てが必ずしも市の強みと直結しているわけではなく、例えば、「交通ネットワークの再編」は、市の弱みを改善するという側面から重点化を図ろうとするものも含まれております。	群馬大学
4	■ 事業No.2 新たな出会いにつながる学び・活動の場の創出（P37）	出会いの場をたくさんつくることは良いことですが、一般的な婚活では課題や問題も多い点も指摘されていますので、本当に結婚をしたいと考えているものの仕事の都合等で出会いの機会がない男女が、その人の希望に合った相手と出会えるチャンスをつくってあげられることが望ましいと考えます。 また、 <u>出会いの場での不安感を取り除くことも大切なのでしかるべき信用（会社等の推薦等）のもとに出会う場を、少人数でも良いので、数多くつくることを地道に実施していくことが必要</u> であります。	事業No.2「新たな出会いにつながる学び・活動の場の創出」では、NPOや企業と連携し、具体的な「 <u>出会いの機会を創出すること</u> 」も事業内容の一つとしています。 ご指摘いただいたとおり、重要なことは、産学官金労言の関係機関が相互に協力しながら数多くの取り組みを提供していくことであると考えております。	商工会議所
5	■ 事業No.3 「ジョブセンターまえばし」による包括的就職支援（P38）	<u>市内に就職を希望している若者たちを支援するためにも「ジョブセンターまえばし」と当所が運営している「ジョブカードセンター」との連携は重要</u> であります。さらに職安との連携やマイナビ等の活用に使える奨励金の支給も重要ですが、前橋市内や群馬県内への就職を希望する人材もいるので、そうした人材に向けて、 <u>前橋市の企業を集めた就職紹介サイトを立ち上げることを検討すべき</u> であります。	●地域の民間事業者・関係団体・NPO・住民との連携（産学官金労言）に、「 <u>商工会議所（ジョブカードセンター）との連携</u> 」の記載を追加しました。 なお、市内企業を集めた就職紹介サイトの立ち上げについては、市内企業側のコースと就職希望者側のコースをそれぞれ整理したうえで、今後検討してまいりたいと考えております。	商工会議所
6	■ 事業No.3 「ジョブセンターまえばし」による包括的就職支援（P38）	国も非正規労働者の正社員化への転換というところに非常に力を入れています。年収が正社員と非正規労働者との間では、生涯賃金で見ると大きいという現状があります。若い頃で見るとあまり変わらないのですが、年齢が上がってくると差が広がり、生涯賃金では大きく差が開いてしまうのです。有配偶率は、一般的に30歳代前半で50%に上がりますが、非正規労働者はそれが上がってきません。多様な勤め方がありますので、それぞれの意向に沿うことは重要ですが、意向に沿わずに非正規労働者になっている方も多くいらっしゃいます。そういう方へのフォローも大切です、今後のジョブセンターまえばしの事業にも関わってくるかと思っています。	本人の意向に沿わずに非正規労働者になっている方に対しては、就労相談、職業紹介、人材育成支援、就職後の定着支援など、包括的な就職支援を実施し、正社員化への転換を目指してまいります。今後は、ハローワーク前橋をはじめ関係機関との綿密な連携のもと、ジョブセンターまえばしにおいて、きめ細かな支援体制の構築を目指してまいります。	ハローワーク前橋

		提案・意見		反映（案）	団体名
	項目	内容			
7	■事業No.5 事業所内保育施設の設置支援 (P40)	前提として、企業に対して、育児休業制度の徹底を求めする必要があります。そのためには、 <u>育児休業制度の徹底を促す何らかの補助をする仕組みを整えたいかがでしょうか（特に中小・小規模企業に対して手厚くすることが望まれます）。</u>		事業目的に、「市内企業は、産休・育休制度の徹底、ワークライフバランスの推進、柔軟な勤務体制の導入（シフト制や時間短縮での勤務、在宅勤務）など、 <u>子育てと仕事の両立に向けた取り組みを加速させることが急務である</u> 」の記載を追加しました。 なお、本市では、市内中小企業における仕事と子育ての両立を支援するため、「仕事・子育て両立支援奨励金」を交付し、育児休業中の代替要員を確保した場合や、対象者が短時間勤務をした場合の補助を実施しており、今後、一層の周知に努めてまいります。	群馬県信用保証協会
8	■事業No.5 事業所内保育施設の設置支援 (P40)	若い女性の場合は、結婚後の出産、育児、職場復帰（収入面）に不安を抱いている人が多いようですが、現在企業でも様々な対応をしているところも増えてきました。しかし、 <u>既に事業所内に保育施設を設置している企業では、保育する従業員の子供の数が減少し、運営が難しいところもあるようなので、他の企業との共同運用や継続的に続けられる人的・財政支援も検討していただきたいと考えます。</u>		手段（事業展開）の一つとして、「 <u>地域の中小企業や工業団地内企業による共同保育所の設置や外部委託による運営の奨励</u> 」を記載しております。具体的な人的・財政支援につきましては、今後、企業側のニーズ等を勘案し、検討してまいります。	商工会議所
9	■事業No.11 放課後児童クラブの拡充（P46） ■事業No.15 地域寺子屋事業（P50）	市民の誰もが共感し、理解していただくことが重要で、そのためには、 <u>気の利いたネーミングとわかりやすいストーリーを持ったシンボルとなる事業を打ち出すことが重要である。</u> 例）「前橋こどもプログラミング食堂」（仮称） 放課後児童クラブや地域寺子屋事業など地域で子育ての事例を前橋オリジナルなものに仕立て、安心して子供を預けられる場、おいしい前橋のご飯を食べられる場、近所のお年寄りや学生ボランティアが遊んでくれる場、そしてICT教育が学べる場とする。特色として、プログラミング教育を打ち出し、全国に先駆けて地域で子供たちにプログラミング教育を施す場所とする。		前橋市で子供を産み・育てたいと思っていただくためには、ご指摘のとおり、より魅力的な仕組みづくりとそれをわかりやすいストーリーで伝えることが重要であると考えております。ご提案の例示につきましては、今後、詳細な事業立案の参考とさせていただきます。	上毛新聞社
10	■事業No.13 近居・三世代同居支援（P48）	事業内容について、現在は実家近くに若い家族が戻ってくるときに支援対象となる制度ですが、 <u>若者定着や移住を考えると、県外から前橋に来た若い家族の近くに、実家の老親が移住してくる場合でも対象にできると良いと思います。（実家の親を観るために仕事をやめて田舎に帰ります。というパターンは散見されると思います。）</u>		事業目的に、「 <u>団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になる、いわゆる「2025年問題」を見据え、市内に居住する若い家族の近くに、県外等に居住する親が移り住みたいとするニーズの対応についても、併せて検討する必要がある</u> 」の記載を追加し、支援対象として「 <u>親の介護</u> 」を明記しました。	共愛学園前橋国際大学
11	■事業No.14 社会全体で子育てを応援する風土づくり（P49）	二人目の壁打破のための社会全体での子育て風土づくりには、ワークライフバランスの推進や父親子育て促進が不可欠で、そのことを包含して風土づくりとしていただいているところはとても素晴らしいと思います。その観点からとらえると、 <u>男女共同参画担当部署や産業政策担当部署が非常に重要で、担当部に市民部や産業経済部を加えることは可能でしょうか。</u>		<u>担当部に市民部及び産業経済部を追加しました。</u> なお、本事業は、上記担当部署を含む庁内横断的組織である専門部会（結婚・出産・子育て部会）において、進捗管理を行ってまいります。	共愛学園前橋国際大学
12	■事業No.19 大学の活性化（P54）	UIターンに奨励金を出すのと同じように、 <u>市内から市内大学へ進学する学生を支援する取組はできないでしょうか。</u> 例えば、進学先の大学の入学金相当を支援するなど。（本学は科目等履修生については、入学金を市内在住者半額としています。）		手段（事業展開）に、「 <u>市内大学等への進学や市内企業への就職を後押しする新たな支援制度の検討・実施（市独自の奨学金、高等教育機関のPR支援等）</u> 」の記載を追加しました。なお、具体的な支援制度につきましては、ニーズ把握、対象者数、財源見込み等を勘案のうえ、事業立案を目指してまいります。	共愛学園前橋国際大学
13	■事業No.19 大学の活性化（P54）	<u>前橋市独自の奨学金制度を作っただけでいいでしょうか。</u> また、前橋市内の企業に就職した場合には、奨学金返金不要等にしたいかがでしょうか。		手段（事業展開）に、「 <u>市内大学等への進学や市内企業への就職を後押しする新たな支援制度の検討・実施（市独自の奨学金、高等教育機関のPR支援等）</u> 」の記載を追加しました。なお、具体的な支援制度につきましては、ニーズ把握、対象者数、財源見込み等を勘案のうえ、事業立案を目指してまいります。	群馬県信用保証協会

		提案・意見		反映（案）	団体名
	項目	内容			
14	■事業No.19 大学の活性化（P54）	<p>誘致を検討する先進高等教育機関のイメージはどのようなものでしょうか？例えば、新たな教育機関を誘致するよりも、既存の機関において必要な学問領域を拡充するというほうがリスクが低減される可能性もあります。もちろん、海外大学の日本ブランチや都内超有名大学（早慶等）の学部などを誘致するというのであれば、かなり期待できると思います。</p> <p>なお、本音を申し上げますと、それでも「東京に行きたい」という一点で大学を選ぶとすれば、どんな有名大学を誘致しても、市内残留は変わらず、そうすると、残った少ないパイを市内大学で取り合うこととなり、市内大学の体力が減退することは危惧しなければなりません。</p>		<p>「希望する学部がないから」とする市内高校生のコースに対する、高等教育機関の充実を図る手段の一つとして、ご指摘のような海外ブランチ校や都内有名大学を含め、希望する学部を有する「先進教育機関の誘致」と記載しておりました。</p> <p>しかしながら、その手法に関しては、一義的には、既存の高等教育機関において必要な学問領域の拡充を検討することが優先されるものであり、「先進教育機関の誘致」の記載は削除し、「必要な学問領域の拡充」の記載へ変更いたしました。</p>	共愛学園前橋国際大学
15	■事業No.20 学生の定着（P55）	<p>COC+について、戦略に記載いただいたこと、大変ありがたく心して取り組みたいと思います。この取組について、各種人材育成プログラムのご支援をいただくということに加え、例えば、このスキームを使って、前橋市内の企業と前橋市内の大学との交流の場などを市で創出いただくなど、あるいはCOC+事務局が展開しそれを市で支援していただくなどいかがでしょうか。</p>		<p>手段（事業展開）に、「市内企業と市内大学との交流の場を創出することで、学生と企業とのマッチングを後押しする」の記載を追加しました。なお、具体的な方法につきましては、別途協議の場を設定させていただき、より成果の高い事業立案を目指したいと考えております。</p>	共愛学園前橋国際大学
16	■事業No.20 学生の定着（P55）	<p>市内への就職・就業を推進していくため、大学生への企業マッチングだけでなく、地元企業の優位性、組織風土（子育て支援、女性活躍推進等）を中高生のうちに（地元以外の大学に進学してもGターンを意識するように）知ってもらう活動が必要ではないでしょうか。例えば、高校生を対象とするビジネスコンテストを通じて県内企業がビジネスプランニングの出張授業を実施、また、ワークライフバランスの先進事例として県内企業を中高生がインタビューするなど、学生に県内企業を知ってもらう活動が必要だと思います。</p>		<p>事業目的に、「地元企業の優位性や組織風土について中高生をはじめとする多くの若者に知ってもらう活動を実施するなど」の記載を追加しました。</p>	日本政策金融公庫前橋支店
17	■大学の活性化（事業No.19、P54） ■学生の定着（事業No.20、P55） ■UIJターンの奨励（事業No.21、P56）	<p>施策⑥と⑦（No. 19, 20, 21）において、「進学を希望する人の83.4%が前橋市外での進学を希望しており、その理由は市内の大学等には志望する学部がないから」（⑥）、一方「市内大学等在学生の出身地は83.6%が前橋市外となっており、通学校を選んだ理由は学びたい内容の学部・学科があるから」（⑦）となっています。それぞれの理由について、もう一段深い理由（どういう学部・学科なのか）がわかれば、若者の吸収・定着につなげるヒントが得られると思われるので、その調査をぜひ行っていただきたい。</p>		<p>今回実施したアンケート結果をお配りいたします。</p> <p>ご指摘をいただいた内容を含め、さらに深堀りが必要な箇所につきましては、皆様のご要望を承ったうえで、追加調査等によるコース把握を実施させていただきたいと考えております。</p>	群馬大学
18	■UIJターンの奨励（事業No.21、P56）	<p>UIJターンのための情報発信として、会議でも述べましたが、市内高校生、大学生の（可能であれば県域）が卒業時にDLできるスマホアプリを開発し、卒業後の情報提供、追跡調査等に活用するというのはいかがでしょうか。</p>		<p>手段（事業内容）に、「市内の高校・大学等を卒業した若者が、卒業した後も本市と「つながり」続けることができる方策を検討・実施する。（卒業後の情報提供、モニタリング調査に活用できるスマートフォンアプリ等）」の記載を追加しました。なお、具体的な方法につきましては、COC+の枠組みも含め、別途協議の場を設定させていただき、より成果の高い事業立案を目指したいと考えております。</p>	共愛学園前橋国際大学
19	■UIJターンの奨励（事業No.21、P56）	<p>例えば、学生が卒業して住所も実家しか分からないとすれば、実家に本人向けに情報を送ってみる。「前橋はこういうことをやっている」というのを、費用の問題もありますが、毎年やるとか3年ごとにやるとか、5年ごとにやるとか考えてみてはいかがでしょうか。市がやっているいろいろな良いこと、地元の事業家がやっている良いことをもう少し東京に行った人にPRすることが重要であると思います。実際に東京に就職した人も含めて、知らないで終わってしまうのかと思います。事業はそろってきましたから、そろそろPRする時期に入っているのではないかと思います。</p>		<p>手段（事業内容）に、「市内の高校・大学等を卒業した若者が、卒業した後も本市と「つながり」続けることができる方策を検討・実施する。（卒業後の情報提供、モニタリング調査に活用できるスマートフォンアプリ等）」の記載を追加しました。ご提案いただいた内容につきましても、今後検討してまいります。</p>	群馬銀行

	提案・意見		反映（案）	団体名
	項目	内容		
20	■ U I J ターンの奨励 (事業No.21、P56)	生産年齢人口の維持を考えれば、若者だけでなく介護問題が顕在化しつつ転職適齢末期を迎える30歳台後半から40歳台前半へのアプローチも有効だと考えます。事業No.33の家族・地域コミュニティの観点も重要ですが、転職者向けの企業求人情報を充実させるなど、U I J ターンに『転職者』も対象としていることがわかるようにしたらどうでしょうか。	親の介護を理由とする移住・定住促進につきましては、「No.13近居・三世代同居支援」に記載をさせていただきました。今後、事業を推進するにあたっては、「転職者」も対象であることがわかるようPR方法を工夫いたします。	日本政策金融公庫前橋支店
21	■ ベンチャーへブまえばしの実現 (事業No.22、P57)	将来的な人口を増やす、就職・雇用を増やすという観点から、創業支援は重要です。前橋市創業センターの開設、群馬イノベーションアワード、当行のベンチャービジネス大賞など、色々なベンチャー支援が始まって定着しつつあると思います。こうした取り組みを毎年続けていくことが、3年後5年後、全国のランドマークになり、さらに上場も可能性がありそうです。ですから、是非行政としてはPRをお願いしたい。群馬で何かおもしろいことをやっているんだということをPRできるようなルートができればいいのではないのでしょうか。	若者の「働き方」や「生き方」が多様化し、地元で働き、新しい事業に挑戦したいという機運が高まっており、「群馬イノベーションアワード」の取り組みなども、そうした機運を後押ししているものと認識しております。しかしながら、起業には、資金的な問題、ノウハウの習得等、総合的な準備が必要であり、起業者を増やすことは決して容易ではありません。「前橋市創業センター」を中心に、各支援機関による一元的な支援を実施することで、若者の創業希望を実現し、前橋発の魅力あるしごとを生み出す環境づくりを目指してまいります。	群馬銀行
22	■ ベンチャーへブまえばしの実現 (事業No.22、P57)	「目的」について、国や県が開業率10%を目標に掲げているのに歩調を合わせ、ある程度具体的な開業率の目標数値等を記載したらいかがでしょうか。年間14人、累計56人という指標（目標）について、施策が浸透していくにつれて右肩上がりが増えていくように設定したらいかがでしょうか。 「●地域の民間事業者・関係団体・NPO・住民との連携（産学官金労言）」に、「産業競争力強化法に基づく創業支援事業計画を推進し、創業ネットワークを活用した前橋市起業家独立開業支援資金の利用増加を図っていく。」を追加記載したらいかがでしょうか。	本事業に対する直接的な指標とするため、「前橋市創業センター」において創業支援を受けた人の創業実現数を設定しております。また、初年度の目標値を高く設定することで、スピード感ある支援を目指してまいります。 また、「●地域の民間事業者・関係団体・NPO・住民との連携（産学官金労言）」につきましては、ご指摘のとおり、記載を追加しました。	群馬県信用保証協会
23	■ 市内企業の事業継承・人材育成支援 (事業No.23、P58)	人口減少抑制では、既存企業の雇用維持（廃業の防止）は不可欠です。中小企業や商店街の老舗店などの事業継承・事業再生について、金融機関を含めた関係各機関が連携してサポートしていく取組みが重要だと考えます。（事業No.22では、「廃業者と起業者のマッチング」という限定的な記載になっているため。）	事業No.23「市内企業の人材育成支援」を「市内企業の事業継承・人材育成支援」へと変更し、手段（事業展開）に、「産業界・金融機関・行政等の関係各機関が連携し、事業継承をサポートしていく取組みを検討・実施する」の記載を追加しました。	日本政策金融公庫前橋支店
24	■ 市内企業の事業継承・人材育成支援 (事業No.23、P58)	現在企業が抱える課題の一つが事業継承の問題です。安心して相談できる支援機関（前橋商工会議所等）専門人材との連携を念頭に置き、県事業引き継ぎセンターの後継者登録バンクとも連携し、事業所や商店が持っている「設備」や「看板」を引き継ぐことができる意欲ある後継者を探す役割も必要であると考えます。	事業No.23「市内企業の人材育成支援」を「市内企業の事業継承・人材育成支援」へと変更し、地域の民間事業者・関係団体・NPO・住民との連携（産学官金労言）に、「群馬県事業引き継ぎ支援センターや市内金融機関など、産業界・金融機関・行政等の関係各機関が連携・協働して事業継承を支援する」の記載を追加しました。	商工会議所
25	■ 市内企業の事業継承・人材育成支援 (事業No.23、P58)	前橋商工会議所と共愛学園前橋国際大学との間で、地域産業人材育成に向けた連携協定が交わされ、地域産業人材育成共同プロジェクトがスタートしています。その中で、現在、会議所経由で地域産業人材要件を抽出するアンケート調査などが実施されています。このスキームも活用いただけるようであれば、ぜひ協働させていただきたいと思えます。	「●地域の民間事業者・関係団体・NPO・住民との連携（産学官金労言）」に、「前橋商工会議所と共愛学園前橋国際大学が実施する『地域産業人材育成共同プロジェクト』との連携」の記載を追加しました。 具体的な連携・協働の方策につきましては、別途協議の場を設定させていただきたいと考えております。	共愛学園前橋国際大学
26	■ 本社機能・バックアップ機能誘致 (事業No.24、P59) ■ 農商工連携による就職支援 (事業No.25、P60)	事業No.24「本社機能・バックアップ機能誘致」とNo.25「農商工連携による就職支援」は、施策②「安定的な雇用と収入の確保」にも入れることができないでしょうか。もちろん、（再掲）でOKです。雇用創出と就職支援は、安定的な雇用と収入の確保にとって重要な柱になると思われるためです。	総合戦略に位置づける事業は、「選択と集中」の観点から、可能な限り、「絞った見せ方」をし、「重点的な推進」を図りたいと考えております。必要性は十分に理解しておりますが、あえて位置づけられないものとさせていただきたく存じます。	共愛学園前橋国際大学

	提案・意見		反映（案）	団体名
	項目	内容		
27	■ 農業の新規参入支援 (事業No.26、P61)	農村部の若者の定着という観点では、新規就農希望者へのPRとあわせて、その受入先の確保が重要です。農業分野の企業誘致、異業種からの農業参入を進めるとともに、既存の農業担い手である大規模経営体（就職先としての農業）への支援を充実することが新規就農者を呼び込むことに繋がります。KPIとして、「農業産出額」及び「担い手農家数」の増加という要素を入れるということを検討してみたいかがでしょうか。	事業目的及び手段（事業展開）に、「既存の農業担い手である大規模経営体への支援の充実」の記載を追加しました。 KPIにつきましては、これまで本格的に取り組んでこなかった企業参入について積極的に外へPRする観点から「新規参入者等数」にさせていただきました。	日本政策金融公庫前橋支店
28	■ 農業の新規参入支援 (事業No.26、P61)	農商工連携や6次産業化というキーワードを入れて、「3. 将来構想」の「若者の新規就農希望や雇用就農者の受け皿となる企業の参入を支援することで、担い手不足を解決するとともに、本市の強みである「農業」をさらに発展させていく。」という文言を、「若者の新規就農希望や雇用就農者の受け皿となる企業の参入を支援することで、担い手不足を解決するとともに、農商工連携や6次産業化を推進し、本市の強みである「農業」をさらに発展させていく。」に変更したいかがでしょうか。	ご指摘のとおり、農商工連携や6次産業化の推進は極めて重要であることから、将来構想に、「農商工連携や6次産業化を推進し」の記載を追加しました。	群馬県信用保証協会
29	■ 魅力の発信拠点となる新たな「道の駅」(事業No.28、P63)	道の駅のオープンについて、おおよその目安となる時期を記載したいかがでしょうか。 指標について、民間活力導入数を利用していますが、道の駅の利用者数や売上についても目標数値として掲げたいかがでしょうか。	事業目的に、「H32年度（2020年）オープン予定」の記載を追加させていただきました。 現在は、整備にあたってのビジョンやコンセプトを検討している段階であり、ご指摘のKPIにつきましては、今後、詳細なシミュレーションができた段階で設定を検討させていただきます。	群馬県信用保証協会
30	■ 赤城山ツーリズム (事業No.29、P64)	旧嶺小学校跡地でスタートする英語体験施設についても盛り込んだらいかがでしょうか。 赤城山に限らず、市域全体の観光という点で、「3. 将来構想」の中に、「国内で更なる伸長が見込まれるインバウンドへの対応を推進する。」を追加したいかがでしょうか。	将来構想に、「さらには、国内で更なる伸長が見込まれるインバウンド観光への対応を推進する」の記載を追加しました。 なお、赤城山ツーリズムにつきましては、今後設置を検討するマネジメントする組織（DMO等）において、パッケージ化する観光資源等を整理してまいります。旧嶺小学校跡地に活用予定の英語村は、密接に関わる観光資源であり、念頭に置きながら事業を推進してまいります。	群馬県信用保証協会
31	■ 赤城山ツーリズム (事業No.29、P64)	「水と緑の健康都市まえばし」のイメージ戦略のひとつ 「まえばし版健康ツーリズム」の創設 「赤城山麓温泉郷と成人病人間ドック」 「スポーツイベント（スポーツコミッション）とスポーツ予防医学」等のパッケージプラン	手段（事業展開）に、「グリーンツーリズム、エコツーリズム、ヘルスツーリズムなどを『赤城山ツーリズム』としてパッケージ化し、魅力をPRする」の記載へ変更しました。 なお、ご提示いただいたパッケージプランも含めて、具体的なプランにつきましては、今後検討させていただきます。	前橋市医師会
32	■ まちなか文化芸術・歴史空間の創生 (事業No.31、P66)	「花燃ゆ」で大々的に展開した榎取素彦の活用について、継続的な取り組みを行いたいかがでしょうか。 広瀬川だけでなく、利根川、馬場川、風呂川、さちの池、親水公園も含めて、水のまち・前橋ならではの面的観光を考えたいかがでしょうか。 風呂川沿いを、前橋中心市街地と敷島公園を結ぶルートとして整備し（遊歩道、自転車道）、敷島公園も含めた観光ルートを考えたいかがでしょうか。 前橋駅北口から県庁までのメインストリートの魅力度アップに取り組んだらいかがでしょうか。	手段（事業展開）に、「富岡製糸場と絹産業遺産群の世界文化遺産登録や大河ドラマ『花燃ゆ』の放映を契機として、再び光が当てられている、近代前橋の原点となった製糸業・絹産業の観光資源化」の記載を追加しました。なお、ご提案いただいた水のまちの面的活用、風呂川沿いの活用につきましては、引き続き、担当課を中心に検討させていただきます。 なお、前橋駅北口から県庁までのメインストリートの魅力度アップにつきましては、「NO.41都市のコンパクト化と魅力ある中心市街地の形成」の一環として、ハード・ソフト両面での対策を講じてまいります。	群馬県信用保証協会
33	■ 地域づくりネットワークを核とした「家族移住」の促進（事業No.33、P68）	「No.13 近居・三世同居支援」にも出てくる「空き家」の活用を、ここにおいても推進したいかがでしょうか。また、移住後に、移住家族が近隣住民と親交を深め、トラブル等を回避できるよう、バックアップするための相談窓口を設置したいかがでしょうか。	手段（事業展開）に、「空き家の活用」の記載を追加しました。（移住促進の支援メニューの1つであり、引き続き推進してまいります。） 相談窓口の設置につきましては、地域づくりネットワークや移住コンシェルジュの活用と併せて、今後、より効果の高い方策を検討してまいります。	群馬県信用保証協会

提案・意見		反映（案）	団体名
項目	内容		
34	<p>■ スローシティ・スローライフの促進 (事業No.34、P69)</p> <p>市内のファストフード店、ファストファッション店、インスタント食品製造業等のあり方と、チッタ・スロー協会の掲げる理念をどう両立させるのか、考え方を整理して示したらいかがでしょうか。同じく、大量生産・大量消費・スピード化と相反するスローライフの推進と、市の経済活力の維持発展を、どう両立させるのか、考え方を整理して示したらいかがでしょうか。 上記の産業バランスの観点から、さまざまな産業に配慮して、前橋市域全体で取り組むのではなく、「No.29 赤城山ツーリズム」の中に位置付け、赤城山の一部地域だけで、「スローシティ・スローライフ」を実践するの一案かと思われます。 チッタ・スロー協会に加盟している日本の唯一の地方自治体である気仙沼市との連携も図りたいかがでしょうか。</p>	<p>手段（事業展開）に、「<u>具体的な実践の場は赤城山南麓地域を想定する</u>」の記載を追加しました。ご指摘のとおり、産業バランスの観点等から、スローシティ・スローライフを推進する実践の場は、赤城南麓地域を想定しております。しかしながら、理念や考え方は、仮に都市部に住む住民であっても共感できるものであり、整合が図れるよう進めてまいります。 地域の民間事業者・関係団体・NPO・住民との連携（産学官金労言）に、「<u>チッタスロー協会に加盟している日本で唯一の地方自治体である気仙沼市との連携</u>」の記載を追加しました。</p>	群馬県信用保証協会
35	<p>■ 民間共創の推進 (事業No.36、P71)</p> <p>前橋〇〇特区のように、<u>市主導によりスピード重視で施策を進めるのではなく、民間が自然に動き出し、実績も積み重ねているようなソーシャルアクションを、丹念に拾い上げ、長い目でバックアップする（後方支援に徹する）施策のほう</u>が、効果的であると思われます。</p>	<p>ご指摘のとおり、今年度は実績が不足していたことから、市主導で実施しましたが、来年度以降は、今年度の実績をもとに、民間主体による自然な動き出しを尊重し、市は側面から支援する枠組みを検討しております。</p>	群馬県信用保証協会
36	<p>■ 都市のコンパクト化と魅力的な中心市街地の形成 (事業No.41、P76)</p> <p>コンパクトシティについては、まちづくりのビジョンを持って、多少「強力」に進めていく必要もあると思います。皆さんの意見を全部聞いてまとめていると、時だけが瞬間に経ってしまい、活性化が進まなくなることが危惧するところでもあります。それからまちの形をどうするかという課題もあります。前橋駅に降り立ったときの雰囲気です。例えば長野県長野市の駅を降りると、駅から町並みが整備されて、官庁街とオフィス街が並び、形がきちっとしています。残念ながら前橋駅はそうになっておらず、市役所周辺も歯抜け状態が目につきます。ここをどうするか、まちをどうするかを真っ先に考えていかないといけないのではないかと痛感します。少々強力なリーダーシップが必要ではないかと思いますが、市長さん以下が、「まちをこうするんだ」という強い思いで強力にやっていっていただきたいと思います。大勢の人のご意見は貴重ですが、街づくりのために選択と集中で頑張ってもらいたいと思います。</p>	<p>コンパクトシティの推進にあたっては、ご指摘のとおり、まちづくりのビジョンを持つこと、市長のリーダーシップのもとスピード感を持って臨むことが大変重要であると認識しております。 ご指摘を踏まえ、手段（事業展開）に、「<u>本市の玄関口であり、人の流れの基点となる前橋駅から中心市街地、県庁までのエリアについて、民間主導の再開発事業を推進し、街の景色を変える</u>」及び、「<u>中心市街地の形成にあたっては、『どのようなまちなかにしたいのか』という将来ビジョンを地域全体で共有し、ハード・ソフト両面で、良質なデザインを有した新たな魅力を創出する</u>」の記載を追加しました。</p>	JR東日本高崎支社
37	<p>■ 都市のコンパクト化と魅力的な中心市街地の形成 (事業No.41、P76)</p> <p>(駅周辺の活性化) ワークショップ②で、前橋の魅力について、「<u>良くも悪くも何もない。</u>」という指摘がある。その理由の一つとして、<u>人の流れの基点となっている前橋駅のイメージに特徴がないことがあるのではないかと</u>。駅周辺に活気が見られないと、折角の県庁所在地なのに外から来た人の印象は極めて悪い。また、駅南側のショッピングモールのけやきウオークをどのように活用するのかの観点が必要ではないか？（このモールと駅との間を、どう整理し活力を持った町並みにするか、など）</p>	<p>手段（事業展開）に、「<u>本市の玄関口であり、人の流れの基点となる前橋駅から中心市街地、県庁までのエリアについて、民間主導の再開発事業を推進し、街の景色を変える</u>」の記載を追加しました。</p>	群馬大学
38	<p>■ 都市のコンパクト化と魅力的な中心市街地の形成 (事業No.41、P76)</p> <p>中心市街地に係ることとして、コンパクト・シティの基本は住むこと（居住施設）、働くこと（事業所）、商いをする（商業施設）、まちを楽しむこと（文化施設）などが混在することである。<u>コンパクトなまちづくりをめざす他都市とは異なる前橋市の独自性を獲得するために、道路景観を含む公共空間の良質なデザインはもとより、核施設のデザインの質が問われていくことになる。そのためにも大きなビジョンが必要である。</u></p>	<p>手段（事業展開）に、「<u>中心市街地の形成にあたっては、『どのようなまちなかにしたいのか』という将来ビジョンを地域全体で共有し、ハード・ソフト両面で、良質なデザインを有した新たな魅力を創出する</u>」の記載を追加しました。</p>	都市計画審議会（松井教授）
39	<p>■ 都市のコンパクト化と魅力的な中心市街地の形成 (事業No.41、P76)</p> <p>現在、igooやまちなかステージ前橋などの組織で様々な取り組みを進めていますが、それらがうまく連携していないため継続的な賑わいに結び付いていません。やはりこうした取り組みをコーディネートする組織（街づくり会社）が早急に必要であると考えます。</p>	<p>手段（事業展開）に、「<u>まちなか全体をコーディネートする組織を設置し、継続的な賑わいを創出する</u>」の記載を追加しました。 中心市街地の形成にあたっては、「<u>どのようなまちなかにしたいのか</u>」という将来ビジョンを地域全体で共有し、ハード・ソフト両面で、良質なデザインを有した新たな魅力を創出することが重要であると考えております。</p>	商工会議所

	提案・意見		反映（案）	団体名
	項目	内容		
40	■ 交通ネットワークの再編 (事業No.42、P77)	歩く人、自転車に乗る人を優先するような、遊歩道、自転車道の整備をしたらいかがでしょうか。それと同時に、人と環境にやさしい都市にするために、協力してくれた企業に対して、事業所や車両に貼れるようなステッカーを贈呈するなど、目で分かる「見える化」をしたらいかがでしょうか。	ご指摘のように、「自動車に過度に依存しない、歩いて楽しいまち」を実現するにあたっては、目に見える形で街の景色を変えていくことも重要であり、今後、地域公共交通網形成計画を策定する過程において、具体的な事業立案を検討してまいります。	群馬県信用保証協会
41	■ その他 (女性活躍推進)	女性の就業支援については各種事業メニューがありますが、企業の女性活躍推進の取組についての支援策が手薄になっている印象を受けます。女性の創業者・創業予定者・経営者のコミュニティ作りの支援、起業する際の初期投資の助成、事業地・店舗の斡旋、新規雇用にかかる助成、女性活躍推進の先進的企業のPR等の企業側への支援策も大事だと考えます。	女性起業家の育成は大変重要な視点であると捉えており、「No.22ハンファーフンまえばしの実現」の中で、ご指摘のコミュニティ作り等も含めて支援策を検討してまいります。	日本政策金融公庫前橋支店
42	■ その他 (女性の安定収入の確保)	企業に対して、従業員給与のアップや正規雇用の増加（非正規雇用の減少）を求める必要があります。特に女性の安定収入の確保が必要であり、そのためには何らかの補助をする仕組みを整えたらいかがでしょうか（例えば、再就職支援手当等）	女性の安定収入の確保につきましては、「No.4子育てママの再就職支援」を実施し、女性の社会復帰を後押しできるよう支援してまいります。国全体の解決課題である企業の正規雇用や給与の増加につきましては、国・県の対応状況を見ながら検討してまいります。	群馬県信用保証協会